

# 平成21年度 決算報告書

公立大学法人三重県立看護大学

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	760,824,000	758,959,000	△ 1,865,000	(注1)
自己収入	254,189,000	261,503,240	7,314,240	
授業料、入学金及び検定料収入	248,136,000	255,167,800	7,031,800	(注2)
雑収入	6,053,000	6,335,440	282,440	
受託研究等収入	4,000,000	6,370,419	2,370,419	(注3)
計	1,019,013,000	1,026,832,659	7,819,659	
支出				
業務費	840,971,000	772,025,025	△ 68,945,975	
教育研究経費	182,809,000	168,049,754	△ 14,759,246	(注4)
人件費	658,162,000	603,975,271	△ 54,186,729	(注5)
一般管理費	174,042,000	128,154,937	△ 45,887,063	(注6)
受託研究等経費	4,000,000	6,370,419	2,370,419	(注3)
計	1,019,013,000	906,550,381	△ 112,462,619	

○ 本表は当法人の予算の区分に従って、当初予算額と決算額(予算執行額)を表示し、差異説明をしています。従って、財務諸表とは、科目表示も異なり授業料等収入や業務費、人件費等で算定条件が異なっています。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の差額は、特定事業の学務システム開発経費が、一般競争入札の結果1,865千円縮減した。
- (注2) 授業料、入学金および検定料収入の差額の主な要因は、入学金1,428千円、入学検定料5,603千円がそれぞれ増額した。
- (注3) 受託研究等収入の差額の主な要因は、新たに受託研究1件999千円、受託事業2件1,365千円が締結され増額した。受託研究等経費は、それぞれの事業を執行した結果増額した。
- (注4) 教育研究経費の差額の主な要因は、教員研究費において、教員活動評価・支援システム制度の準備のために5,000千円を節減した。また、同費目に11,063千円の減額があり、これは研究対象施設や調査対象である患者からの協力が得られないケースが発生したことや複数の教員に出産や体調不良が続発し、継続的な研究ができないケースがあったことによる。
- (注5) 人件費の差額の主な要因は、教員人件費は教員の若返りにより24,054千円減額し、育休・病休者について14,530千円が減額し、非常勤教員人件費が1,199千円減額した。随時教員人件費(産休、病休代替等)が10,074千円増額した。退職手当については、15,066千円減額した。職員人件費は、法定福利費が9,185千円不要となったため減額し、給与人員数の差異により8,082千円減額した。非常勤職員人件費が7,548千円減額した。時間外手当が10,455千円増額し、随時職員人件費が3,540千円増額した。役員人件費については、予算見積りが過少であったため法定福利費を2,770千円増額した。
- (注6) 一般管理費の差額の主な要因は、積極的な経費の見直しによる職員公舎借上料13,868千円の節減、光熱水費を業務費に18,381千円組替えたほか計画的な執行により経費を節減した。